

福島第一 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 (1 / 2)

(データ集約 : 8/30)

| 採取場所 | 1号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側) | | 1号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側) | | 1号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側) | | 1号機原子炉建屋上部 (原子炉上南東側) | | 炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) ² |
|------------------|--|-------------|--|-------------|--|-------------|--|-------------|--|
| 試料採取日時刻 | 平成23年8月28日 9時40分～10時10分 | | 平成23年8月28日 10時15分～10時45分 | | 平成23年8月28日 12時05分～12時35分 | | 平成23年8月28日 12時45分～13時15分 | | |
| 検出核種 (半減期) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | |
| I-131 (約8日) | ND | - | ND | - | ND | - | ND | - | 1E-03 |
| Cs-134 (約2年) | 7.0E-06 | 0.00 | 5.7E-06 | 0.00 | 7.4E-06 | 0.00 | 5.6E-06 | 0.00 | 2E-03 |
| Cs-137 (約30年) | 7.4E-06 | 0.00 | 5.3E-06 | 0.00 | 1.1E-05 | 0.00 | 5.3E-06 | 0.00 | 3E-03 |

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

・ E- とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表 3 核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性の I-131 が約 2E-6Bq/cm³、Cs-134 が約 5E-6Bq/cm³、Cs-137 が約 6E-6Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

参考値

福島第一 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 (2 / 2)

(データ集約 : 8/30)

| 採取場所 | 1号機原子炉建屋上部横 (機器ハッチ西側下) | | 1号機原子炉建屋上部横 (機器ハッチ西側上) | | 炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) ² |
|------------------|--|-------------|--|-------------|--|
| 試料採取日時刻 | 平成23年8月28日 8時10分～8時40分 | | 平成23年8月28日 8時45分～9時15分 | | |
| 検出核種 (半減期) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | 試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³) | 倍率 (/) | |
| I-131 (約8日) | ND | - | ND | - | 1E-03 |
| Cs-134 (約2年) | 3.8E-05 | 0.02 | 2.6E-04 | 0.13 | 2E-03 |
| Cs-137 (約30年) | 4.6E-05 | 0.02 | 3.3E-04 | 0.11 | 3E-03 |

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 1 0⁻ と同じ意味である。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表 3 核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性の I-131 が約 2E-6Bq/cm³、Cs-134 が約 5E-6Bq/cm³、Cs-137 が約 6E-6Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 3E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。